



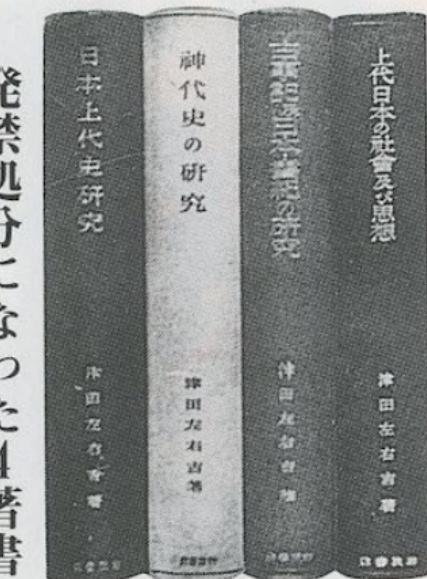
津田左右吉物語 第12回

これは皇紀2600年奉祝を前に、国粹主義者たちが左右吉に対して起こした学問への弾圧事件でした。

昭和15年6月から翌年2月までの間に、左右吉と出版元の岩波茂雄氏に対して、29回の訊問が行われました。

東京刑事裁判所の公判が、昭和16年3月に予定されました。公判の対象となつた著作は『古事記及日本書紀の研究』『神代史の研究』（共に大正13年刊行）『日本上代史研究』（昭和5年刊行）『上代日本の社会及び思想』（昭和8年刊行）の4冊で、古いものでは16年、新しいものでも6年を経ていました。

津田事件(その四)



発禁処分になつた4著書